

第2回分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事要旨

- 1 日 時：平成30年3月20日（火）午後7時～9時05分
- 2 場 所：片町文化センター1階第2会議室
- 3 出席者：都市整備部計画課 職員4名
 - 分倍河原共栄会 4名
 - 片町二丁目自治会 3名
 - 片町3丁目自治会 1名
 - 美好町3丁目自治会 2名
 - 分梅第一自治会 1名
 - 分梅高倉自治会 1名
 - (株)ジオ・アカマツ 1名
 - NREG東芝不動産(株) 2名
 - その他 1名
 - (株)首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 3名
- 4 資 料：次第
 - 資料1 - 1 分倍河原駅周辺まちづくり協議会会則（案）＜市提案＞
 - 資料1 - 2 分倍河原駅周辺まちづくり協議会部会会則（案）＜市提案＞
 - 資料2 府中市都市・地域交通戦略【分倍河原駅周辺地区】（案）
 - 資料3 - 1 分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）
 - 資料3 - 2 第5回にぎわい検討部会及び第4回生活検討部会（2月15日・16日）の主な意見に対する対応・見解
 - 資料4 - 1 分倍河原駅周辺地区まちづくりニュース第6号（案）
 - 資料4 - 2 府中市都市・地域交通戦略（案）【分倍河原駅周辺地区】概要版
 - 参考資料1 第5回分倍河原駅周辺まちづくり協議会にぎわい検討部会議事要旨
 - 参考資料2 第4回分倍河原駅周辺まちづくり協議会生活検討部会議事要旨

5 内 容

- (1) 協議会会則及び部会会則の改正について
（：出席者からの質問等、：意見への回答等）
・資料1 - 1、資料1 - 2について市より説明。

資料1 - 2の第5条部会の意思決定において、過半数の同意により決定すると書かれており、生活検討部会では5つの組織があるが、3つの組織の同意により過半数の同意となるという認識で良いか。（分梅第一自治会）
その通りである。（市）

直ちに異議があるという訳ではないが、少し考える時間が欲しい。意思決定の際は、各組織の意思を持ち寄るといふことか。そうなると、各組織で総会等を開く必要があるか。（美好町3丁目自治会）

まちづくり提案を決定する際が、初めの意思決定となると思う。その際は、各組織において総会等を開いて意思を確認していただき、協議会で議決することを考えている。本日お示しした案をご検討いただき、年度明けに改めて改正の議決を行いたい。（市）

(2) 都市・地域交通戦略（案）について

（ ；出席者からの質問等、 ；意見への回答等）

・資料2について市より説明。

アンケート調査での意見は、交通戦略にどのように反映されているのか。（分梅第一自治会）

アンケート調査とヒアリング調査の結果を7ページで整理している。意見をまとめると、7ページの中段に書いているとおり、駅周辺の安全性の確保などの観点からまちの基盤整備と一体になった抜本的な駅改良が求められていると捉えている。（市）まちづくり協議会と同じような意見であると思う。協議会で議論していないような意見はあるのか。（分梅第一自治会）

自由意見欄では多様な意見があったが、歩行空間の安全性の確保や、駅の安全性・利便性の確保に対する歩行者目線での要望が多く、まちづくり協議会と共通した意見が多かった。（市）

まちづくり協議会での意見は、住民の考えと乖離があるのではないかと感じていたが、そこまで乖離しておらず、重なっている意見が多いと感じた。（分梅第一自治会）

19ページの施策展開図が以前よりおとなしくなっていると感じる。にぎわい軸も、以前はミナノまで伸びていたが短くなっている。（美好町三丁目自治会）

施策位置が分かりにくいという意見があったため、ステップ1、ステップ2において段階的にどの施策をどこで行うのかを見やすく整理した。（市）

商店街での自転車の押し歩きは一つの規制となる。規制により自転車を利用する人が商店街を利用しやすくなるのか、利用しにくくなるのか考えなければならない。自転車が通りにくくなってしまったとなると、利用客は商店街に足が遠のいてしまう可能性がある。規制することは跨線橋の架け替え等により通行しやすくすることと反対の考え方であるため、十分な議論が必要だと思う。（分倍河原共栄会）

現在は、特に夕方の時間に歩行者と自転車が錯綜しているため、両者が安全に利用できるような検討をしたいと考えている。（市）

南北自由通路の幅は広げるのか。（分倍河原共栄会）

交通戦略では、38ページの幅員設定の考え方のおり、現在の幅員4mから幅員6.5～8mに整備したいと考えている。（市）

どの時間帯の通行量を想定して幅員を考えているのか。（分倍河原共栄会）

歩道幅員設定の考え方については、道路構造令等により、歩行者の多い歩道は幅員3.

5 m必要とされている。南北自由通路は、歩行者だけでなく自転車を押し歩きしながら行き来できる幅員や、車いすが通行できる幅員を考えると最低でも6.5 mは必要であると考えている。(市)

南北自由通路は商店街にとって重要な施設であり、設置位置や勾配の検討と併せて自転車の押し歩きを行うのであれば、自転車利用者の賛同も必要である。時間帯別の利用者なども考慮しながら議論を深めるべきではないか。(分倍河原共栄会)

デザイン面でも、手すりの構造をガラス等にすると、開放感が得られると思う。現在の跨線橋は囲われており見晴らしがよい。外が見えるようになるとまた考えなければならぬことが出てくると思う。また、架け替えにあたっての仮の動線や広場との位置関係を考えながら跨線橋の位置を検討する必要がある。(その他)

商店街の幅員を広げることは難しいと思うので、商店街、駅前広場、自由通路との空間の繋がりを考え、震災時は南側のロータリーに人を誘導できるような計画をしなければならない。また、自転車の押し歩きは現実的には難しいと感じる。(片町二丁目自治会)

商店街の幅員を広げることは死活問題になるため難しいと感じている。現在のパチンコ店の裏に沢山自転車が停められているが、駅利用者の放置自転車も多く、駐輪場を新しく整備することも必要である。にぎわい軸の空間をどう整備していくお考えか。(片町二丁目自治会)

具体的な整備計画はこれからであるが、にぎわい軸として、商店街からミナノまで、動線をまっすぐ伸ばしていくとともに、自由通路の足元になる広場整備を行っていく考えである。(市)

かなり時間がかかると思われるため、できるところから少しずつやっていった方がよいのではないか。(片町二丁目自治会)

できるところからやるとなると、少ししか進まずに終わってしまう可能性がある。37ページの施策の考え方にあるとおり、具体的な整備計画の深度化を、今後十分に協議いただきながら進めてもらえば良いと思う。(美好町3丁目自治会)

現在の駅は乗り換えスペースがなく乗降客が錯綜している。安全な駅前広場整備と併せて、駅構内の空間の確保も必要である。(片町二丁目自治会)

26ページにあるとおり、鉄道事業者との会議を4回開いて協議されているようであるが、交通戦略では平成35年に駅舎整備に着手するとしつつも、どうするのか見えてこない。(分梅第一自治会)

26ページに記載している会議は、交通戦略を検討するための会議である。駅改良についての検討会議は27ページの上段、分倍河原駅周辺基盤検討会議で行っており、協議を進めているところである。(市)

鉄道事業者は駅について、大々的に改良する意思はあるのか。(分梅第一自治会)

鉄道事業者は、まちづくり協議会や交通戦略の検討のなかで、分倍河原駅がまちづくりの中心にあることは認識している。また、まちづくりと駅改良を連携して行っていく必要があるという認識は持っていており、皆さまの意見を伝えながら動かしていきたいと考えている。(市)

全体像を描くことも大事であるが、総合的にすべてを行うのではなく、平成35年の駅舎整備を目指すには何を必要とする必要があるか考えて、それを先に行うことによって鉄道事業者を動かしていく必要があると思う。(分梅第一自治会)

交通戦略は、市の考えを皆さまにお見せし一緒に考えていくことと併せ、鉄道事業者へまちづくりの提案を行うことも目的の一つである。駅改良だけして欲しいと言っても鉄道事業者は動いてくれない。駅利用者の安全性や利便性も高める駅周辺のまちづくりの中で、駅舎改良も一体的に考えていかなければならない。また、駅改良のためには、工事スペースや工事車両動線の確保も必要となってくるため、ステップ2の期間に駅改良に着手するためにも、順序立てて施策を進める必要がある。鉄道事業者は抜本的な駅の改良が必要であるという意識を持ってきてくれているところである。来年度は測量を行う予定であり、具体的な駅の改良案を考えていく予定である。(市) 26ページには交通戦略検討協議会の名簿があるが、副市長の名前がない。まちづくり協議会、交通戦略検討協議会、鉄道事業者との駅改良の検討会議と副市長とのそれぞれとの関係はどのようになるのか。(片町二丁目自治会)

交通戦略検討協議会は交通戦略策定を目的とした協議会である。副市長は市の理事者として、鉄道事業者の上の立場の方との調整などを行い、組織的に鉄道事業者との協議を進めている。(市)

駅の問題については、まちづくり協議会の中で議論できるのか。(分倍河原共栄会) 以前も申し上げたが、協議会でも議論していただき、鉄道事業者へ意見を伝えていきたいと考えている。これまで鉄道事業者は駅を改良するというところまで至っていなかったが、改良していく方向になってきている。(市)

駅改良に関連する駅南側の駐輪場の土地の利用方法や南北自由通路整備について、どうしていくのか決まっているのか。(分倍河原共栄会)

駅改良の絵柄は決まっていない。跨線橋の架け替えについての考え方は交通戦略でも示している。(市)

駅の改良については入っていなかったとおっしゃったが、まちづくり協議会発足の際に、駅改良と広場整備の二つはまちづくりの検討テーマの柱として存在していたのではないのか。(片町二丁目自治会)

誤解を与えたかもしれないが、駅改良がなかったということではなく、鉄道事業者との協議を開始した当初は鉄道事業者より駅を改良する必要性はないと言われていた。20年来の要望でもあり、協議の中で駅改良を行う方向になってきたということである。(市)

平成2年から駅改良の話は出ているので、その頃からなかなか進んでいない。(片町二丁目自治会)

駅改良については、これまでなかなか進めることができなかった。交通戦略で方向性を定め、具体的な事業の検討はこれから皆さまと話し合っていくことになる。まずは方向性を示すためにも戦略を策定していくということでご理解いただきたい。(市) 今の話を受け、駅改良についてはまだまだ不確定であるため、今後もしっかりと協議いただきながら、まちづくりの検討も進める必要があると感じた。(分梅第一自治会)

(3) まちづくり提案(案)について

(:出席者からの質問等、 :意見への回答等)

- ・資料3 - 1についてコンサルタントより説明。
- ・資料3 - 2について市より説明。

○市の窓口でもお伝えしたが、駅前広場の整備の際、立ち退かなければならない人が出てくると思う。南町の給食センターの跡地を立ち退く方の代替地とできないかと思っている。(片町二丁目自治会)

担当部署が違う為詳しくは確認するが、現時点では給食センターの跡地をどのような利用とするか決まっていない。跡地を公共で利用するのか、民間に売のかも方針が決まっていない。分倍河原駅周辺には市の土地がほとんど無いため、立ち退く方の生活再建については、丁寧に進めていかなければならないと考えている。(市)

時間のない中で整備を進めていくには、生活環境が変わる権利者の方に対し、特に早く情報を知らせることが大切だと思う。(片町二丁目自治会)

南北自由通路の手すり部分をガラス張り等にする事で、JR線を上から見る事ができるようになる。現在は八ヶを感じられる景観が無いため、架け替える際は、鉄道事業者にも協力いただきながら自然を感じられるようなつくりにしてほしい。また、できることなら駅前広場に八ヶから染み出た水を活用した空間作りなど工夫できると良い。せっかく模型も用意していただいたので、ピンを指したりしながら議論できれば良い。(その他)

一案であるが、駅舎整備については、京王線ののり面を活用した人工地盤整備を行うことにより、駅の北側のレベルから東芝側へ南北に伸びる広場空間を整備することができると考えている。他地域の事例も参考にしながら、模型を使用し、夏頃までに議論を深めていきたい。(分倍河原共栄会)

(4) まちづくり提案(案)及び都市・地域交通戦略(案)に関する意見の募集について

(:出席者からの質問等、 :意見への回答等)

- ・資料4 - 1、資料4 - 2について市より説明。

(5) その他

次回全体会の日程は4月23日(月)とする。(市)

次回の協議会で議決を行う内容はあるのか。(分梅第一自治会)

まちづくり提案については引き続き検討いただきたいと思うが、交通戦略については4月中にまとめ、策定したいと考えている。(市)

出前講座等をお願いすれば、今回のような内容を各組織で説明してもらえるか。(分倍河原共栄会)

出前講座という手続きをとらなくても、我々に言っていただければ説明に伺う。(市)
今後はテーマを絞って議論を進めなければならない。参加者も多いので皆さんが発言

できるようにしてほしい。特にまちづくり提案の中で書かれているセットバックは商店街の権利者の方の私権に関することなので、話を詰めていく必要がある。期限を先に設けるのはおかしいのではないか。（分倍河原共栄会）

8月のまとめでは、方向性をいったん決めて、その後具体的な検討に進んでいくのだと思う。（分梅第一自治会）

テーマを絞るという意味では、セットバックについて、権利に関わる商店街の方々とご議論いただきながら進めていくことも考えられる。一旦夏頃を目標として、今後の検討状況に応じて相談しながら進めていきたいと思う。（市）

以上